

2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年2月13日

上場会社名 日本伸銅株式会社
コード番号 5753 URL <http://www.nippon-shindo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森山 悦郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 木本 道隆

TEL 072 229 0346

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	17,458	17.1	921	26.6	806	43.4	555	43.1
2023年3月期第3四半期	21,071	9.3	1,255	25.7	1,425	14.1	976	14.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	259.70	
2023年3月期第3四半期	447.21	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	15,169	10,879	71.7	5,090.73
2023年3月期	15,408	10,359	67.2	4,822.16

(参考)自己資本 2024年3月期第3四半期 10,879百万円 2023年3月期 10,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		5.00		5.00	10.00
2024年3月期		5.00			
2024年3月期(予想)				5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	13.7	1,260	20.8	1,020	32.2	700	32.1	327.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

注) 詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	2,370,000 株	2023年3月期	2,370,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	232,903 株	2023年3月期	221,603 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	2,138,777 株	2023年3月期3Q	2,184,360 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における世界経済は、諸外国で物価が上昇し、金融引締めが行われました。また、ウクライナ戦争が長期化し、エネルギー価格が高騰しました。2023年10月7日以降、イスラエルとイスラム組織ハマスとの軍事衝突が続いています。

わが国経済は、内外金利差により円安が進行し、物価が上昇しました。また、原発の再稼働が遅れ、電力料金が高騰しました。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類へ移行したため、3年余り続いた国の感染対策は解除され、経済活動は徐々に正常化しました。

このような経営環境の下、当社は、伸銅品の需要が低迷したため、臨時休業日を設けて生産調整しました。

当第3四半期累計期間の経営成績は、販売数量が15,383トン（前年同期比16.4%減少）となり、売上高は174億58百万円（同17.1%減少）となりました。収益面につきましては、営業利益は9億21百万円（同26.6%減少）となり、銅相場のリスクをヘッジするためのデリバティブ取引でデリバティブ損失が1億45百万円発生したため、経常利益は8億6百万円（同43.4%減少）、四半期純利益は5億55百万円（同43.1%減少）となりました。

当社は伸銅品関連事業の単一セグメントとしております。伸銅品関連事業の部門別の経営成績は、次のとおりであります。

(伸銅品)

当社の主力製品である伸銅品においては、販売数量14,868トン（前年同期比16.6%減少）、売上高は152億49百万円（同16.8%減少）となりました。

(伸銅加工品)

伸銅加工品においては、売上高は8億50百万円（前年同期比10.8%減少）となりました。

(その他の金属材料)

その他の金属材料においては、伸銅品原材料の転売が主で、売上高は13億58百万円（前年同期比23.7%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は121億30百万円となり、前事業年度末と比べ1億75百万円減少しました。これは主に電子記録債権が3億74百万円、棚卸資産が3億68百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が8億34百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は30億38百万円となり、前事業年度末に比べ64百万円減少しました。

この結果、資産合計は151億69百万円となり、前事業年度末に比べ2億39百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は38億54百万円となり、前事業年度末と比べ7億76百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が1億27百万円増加したものの、短期借入金が5億70百万円、未払法人税等が2億17百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は4億35百万円となり、前事業年度末に比べ17百万円増加しました。

この結果、負債合計は42億89百万円となり、前事業年度末と比べ7億59百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は108億79百万円となり、前事業年度末に比べ5億19百万円増加しました。これは主に四半期純利益5億55百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は71.7%（前事業年度末は67.2%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月12日「2023年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2024年2月13日）発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	223	225
受取手形及び売掛金	3,963	3,128
電子記録債権	3,737	4,111
商品及び製品	1,172	1,324
仕掛品	1,657	1,717
原材料及び貯蔵品	1,432	1,589
その他	120	34
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,305	12,130
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,078	2,078
その他(純額)	484	450
有形固定資産合計	2,563	2,529
無形固定資産		
投資その他の資産	90	87
その他	449	421
投資その他の資産合計	449	421
固定資産合計	3,103	3,038
資産合計	15,408	15,169
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,503	1,631
短期借入金	2,490	1,920
未払法人税等	241	24
賞与引当金	97	39
その他	297	239
流動負債合計	4,630	3,854
固定負債		
退職給付引当金	19	24
その他	398	410
固定負債合計	417	435
負債合計	5,048	4,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,595	1,595
資本剰余金	290	290
利益剰余金	8,808	9,342
自己株式	△394	△417
株主資本合計	10,299	10,810
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60	69
評価・換算差額等合計	60	69
純資産合計	10,359	10,879
負債純資産合計	15,408	15,169

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	21,071	17,458
売上原価	19,216	15,877
売上総利益	1,854	1,580
販売費及び一般管理費	599	659
営業利益	1,255	921
営業外収益		
受取利息	0	—
受取配当金	9	10
受取保険金	—	23
デリバティブ利益	156	—
デリバティブ評価益	22	0
その他	5	8
営業外収益合計	194	43
営業外費用		
支払利息	3	2
デリバティブ損失	—	145
デリバティブ評価損	21	9
営業外費用合計	24	157
経常利益	1,425	806
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
税引前四半期純利益	1,425	807
法人税等	448	251
四半期純利益	976	555

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。